

修士論文（要旨）

2024年1月

日常会話におけるベキダの使用実態の考察
— 類義形式と比較して —

指導 茶谷 恭代 准教授

国際学術研究科

国際学術専攻

グローバルコミュニケーション実践研究学位プログラム

222J1002

蘇 皓瑜

Master's Thesis (Abstract)

January 2024

The Use of BEKIDA in Daily Conversation and a Comparison of Synonymous
Expressions

SU HAOYU

222J1002

Master of Arts Program in Global Communication

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yasuyo Chatani

目次

1.研究の背景と目的	1
2.先行研究と本研究の位置づけ	2
2.1 評価のモダリティにおける「べきだ」の位置づけ	2
2.2 「べきだ」の意味用法	3
2.3 「べきだ」の使用状況・場面	4
2.4 「べきだ」の使用実態	5
3.研究対象と調査方法	6
4.実例分析	7
4.1 「べきだ」の用法の全体像	7
4.2 文末述語	9
4.2.1 一人称主体	9
4.2.2 二人称主体	13
4.2.3 一人称複数（包含）	14
4.2.4 三人称主体	14
4.2.5 一般称その他	15
4.2.6 終助詞について	16
4.3 名詞修飾語	17
4.4 文中述語その他	18
4.5 連用形「べく」について	19
5.類義形式「ほうがいい」、「なくてはいけない」との比較	20
5.1 「ほうがいい」の用法の全体像	22
5.2 「なくてはいけない」の用法の全体像	24
5.2.1 形式のバリエーション	24
5.2.2 「なきやいけない」の全体像	26
5.3 三つの形式の比較	26
5.3.1 文中の位置と成分の比較	26
5.3.2 文末述語用法の比較	28
5.3.3 前接する語	36
6.まとめ	38
6.1 まとめ	38
6.2 今後の課題	39
参考文献	I
言語資料	I
参考資料	II

日本語には「といい」、「ほうがいい」、「なくてはいけない」などのような事態の必要性を表す表現があり、「べきだ」もその表現の一つである(日本語記述文法研究会編 2003)。

日本語教育において、今までの教科書は「べきだ」を導入する際、対人関係に留意した意見交換の場面が想定されておらず、ただ一方的に意見を述べる場合の「べきだ」の使い方にとどまっている(『総合日本語第二冊(修訂版)』、『みんなの日本語中級Ⅱ本冊』など)。市川(2007)によると、「べきだ」は会話においても用いられるとされる。「べきだ」という価値判断を下す文法項目を学習者に教える際、実際の日常会話ではどのような場面でどのように使われるのか、その特徴や留意点を示すことが必要である。また、高梨(2005)によると「べきだ」は、「なくてはいけない」と「ほうがいい」と同じ文脈で使える場合があるため、これらの形式との意味の異同が問題にされている。同じ文脈で使える表現の選択肢がいくつかある場合「べきだ」をいつ使うのかが問題になる。

そこで、本稿は日本語母語話者の使用に注目し、日常会話における「べきだ」の使用実態と類義形式とされる「なくてはいけない」「ほうがいい」の使用実態を比較しつつ「べきだ」の特徴を明らかにする。四つの話しことばコーパスと小説の会話文を利用し、実例を収集した。そして、三つの形式を伴う述語の動作の主体の人称や文中の位置と成分などの観点から違いを分析し、「べきだ」の特徴を検討した。

その結果、「べきだ」が用いられる文中の位置と成分は、分析対象とした262例中最も多いのは文末述語(150例)であり、続いて名詞修飾語(92例)、文中述語(20例)であった。「べきだ」の使用は文末だけではなく、名詞修飾にも注目すべきことがわかった。また、名詞修飾語用法での使用頻度は「べきだ」>「なきゃいけない」>「ほうがいい」の順で、「べきだ」に圧倒的に多く見られ、名詞修飾節での使用や「～こと」の内部への生起頻度に差があることがわかった。

次に、「べきだ」を伴う述語の動作の主体について考察した結果、一般称その他の用例数は最も多く(87例)、次に一人称主体(61例)、続いて二人称主体(41例)、一人称複数(包含)(40例)、三人称主体(33例)である。一人称主体について、「べきだ」は主語が一人称になれば、自分のことについて自分自身が意見を述べるような不自然さが生じることがある(森山1992、市川2007)と指摘されていたが、森山(1992)が挙げた状況以外に、「と思う」が後接する場合と引用節の場合は動作の主体が一人称でも許容される。

一人称主体の場合「べきだった」と「ほうがよかった」は同じ「後悔」という気持ちを表すが、「べきだ」は自分の努力が足りないといった自身に対する後悔があるのに対し、「ほうがいい」はそれ以外に、外部の環境などの事情によってできなかった場合にも使われる点を両形式の違いとして考察した。また、「べきだった」は、一人称主体の場合では後悔を表すのに対し、二人称主体の場合では相手に対する不満を表すと考えられる。しかも、相手が既に行った行為に対する不満を表す場合は【断定形(過去)】だけではなく、【断定形(非過去)】も使われる。その違いについて、【断定形(過去)】は過去に起こってしまった一回限りのことについて発話するのに対し、【断定形(非過去)】はその上で、同じ状況が生じた場合の行為の必要性も含意することを考察した。

日本語教科書や教材において、「べきだ」の導入や練習に終助詞を伴う例文が提示されることは少ないが、コーパスによる会話や会話文のデータでは、終助詞が伴う例が文末述

語として使用の 150 例の 30.00%を占め、「べきだ」が二人称主体だけではなく、三人称や一般称その他を主体とする動作に用いられる場合においても終助詞が使われている。日本語教育においても伝達態度にも目を向けて学習者に示す例文を検討する必要があると考えられる。

最後に、「べきだ」に前接する語について、「べきだ」の前には意志動詞が来ることが多く、その中でも「する」という動詞が前接することが最も多い。非意志動詞が前接する場合はほとんど受身の形をとる動詞と「ある」が多く、非意志動詞が前接する 20 例中 15 例が名詞修飾語用法の用例であり、意志動詞が前接することは名詞修飾によって解除されやすいと考えられる。また、影響を受ける対象が人である場合に自動詞が前接することが許容されやすい傾向が見られた（例「私たちやほかの方に伝わるべきじゃないだろうか」）。

以上のように、本稿では日常会話における「べきだ」の使用実態や特徴について検討してきた。本稿は「ほうがいい」と「なきゃいけない」としか比較することができなかったが、「べきだ」の類義形式には「といい」、「ばいい/たらいい」、「てもいい」などもあり、これら諸形式との相違点についての考察によって、「べきだ」の特徴をさらに明らかにしていく必要がある。

参考文献

- 雨宮雄一 (2000) 「「すべきだ」「したほうがいい」と「しなくてははいけない」の違いについての覚え書き」『現代日本語研究』7 : 12-24.
- 市川保子 (1997) 『日本語誤用例文小辞典』 凡人社
- 市川保子 (2007) 『中級日本語文法と教え方のポイント』 スリーエーネットワーク
- 加藤恵梨 (2016) 「コーパスに基づく「べきだ」の分析」『朝日大学留学生別科紀要』13 : 15-24.
- 木村秀樹 (2014) 「こと・ところ・ことば—現実をことばにする「視点」」『人文知1心と言葉の迷宮』 東京大学出版会
- 高梨信乃 (2004) 「評価のモダリティ形式のタ形について—「べきだった」「なくてははいけなかった」「ざるを得なかった」—」『日本語文法』4 : 38-54.
- 高梨信乃 (2005) 「評価のモダリティを表す助動詞「べきだ」」『神戸大学留学生センター紀要』11 : 1-15.
- 高梨信乃 (2007) 「評価のモダリティと実行のモダリティ」『神戸大学留学生センター紀要』13 : 35-54.
- 高梨信乃 (2010) 『評価のモダリティ—現代日本語における記述的研究』 くろしお出版
- 劉笑明 (1998) 「判断系のモダリティ「なければならない」と「べきだ」を中心に」『国語国文研究』109 : 64-58
- 日本語記述文法研究会編 (2003) 『現代日本語文法4 モダリティ』 くろしお出版
- 山岡政紀 (2011) 「「と思う」構文の発話機能に関する対照研究」『日本語コミュニケーション研究論集』1 : 93-102
- 中俣尚己 (2021) 『「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門』 ひつじ書房
- 宮崎和人・安達太郎・野田春美・高梨信乃 (2002) 『新日本語文法選書4 モダリティ』 くろしお出版
- 村上嘉英 (1999) 「中国語と日本語の人称代名詞について」『中国文化研究』16 : 21-38
- 森山卓郎 (1992) 「価値判断のムード形式と人称」『日本語教育』77 : 26-35

言語資料

- 「『昭和話し言葉コーパス』(SSC) 本公開のご案内」, 2022年3月, 国立国語研究所, <<https://www2.ninjal.ac.jp/conversation/showaCorpus/>> (参照 2022-10-28)
- 「『日本語日常会話コーパス』の概要」, 国立国語研究所, <<https://www2.ninjal.ac.jp/conversation/cejc/design.html>> (参照 2022-10-28)
- 「『現日研・職場談話コーパス』」, 国立国語研究所, <<https://www2.ninjal.ac.jp/conversation/shokuba.html>> (参照 2022-10-28)
- 「『名大会話コーパス』」, 国立国語研究所, <https://mmsrv.ninjal.ac.jp/nucc/nucc_abst.html> (参照 2022-10-28)
- 「『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』概要」 <

<https://clrd.ninjal.ac.jp/bccwj/>> (参照 2022-10-28)

参考資料

『みんなの日本語中級Ⅱ本冊』スリーエーネットワーク, 2012

『総合日本語第二冊 (修訂版)』北京大学出版社, 2010

『新版 中日交流標準日本語 中級下』人民教育出版社, 2010